

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 遠隔ICU体制整備促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療企画係 電話番号：058-272-1111(内3236)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 24,260 千円 (前年度予算額： 36,974 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	36,974	36,974	0	0	0	0	0	0	0
要求額	24,260	24,260	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

遠隔ICU体制整備促進事業は、複数の集中治療室の医療情報をネットワーク通信を利用して連携し、核となる集中治療室において、集中治療専門の医師等が集約的に患者をモニタリングし、遠隔地から現場の若手医師等に対し適切な助言を行うシステムの体制整備を促進することにより、医療の生産性の向上の観点を踏まえた勤務環境の改善を目的とする。

(2) 事業内容

遠隔ICUの運営に必要な職員基本給、通信運搬費、委託費 (システム運用費、システム保守経費) 等を対象とした補助 (運営)、及び遠隔ICU体制の整備に必要なデータセンター、データシステム構築費用及び附属機器等の購入費を対象とした補助 (設備) を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助金 (運営：医療施設運営費等補助金、設備：医療施設等設備整備費補助金) の活用

補助率 1 / 2 (国)

(4) 類似事業の有無

類似事業なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	24,260	遠隔ICUの運営費に対する補助金
合計	24,260	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画（第8期）

第3部－第2章－第6節救急医療対策－7今後の施策

『救命救急センターの受け入れ体制強化のため、運営費及び設備整備費に対し助成します。』

(2) 国・他県の状況

当補助事業については、神奈川県や埼玉県において実施されている。

(3) 後年度の財政負担

遠隔ICUの安定的な運営の為、要望があれば支援していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

遠隔ICU体制の整備は、市町村域を超えて、より広域的に取り組むべきものであることから、県が補助を行うことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

複数の集中治療室の医療情報を、ネットワーク通信を利用して連携し、核となる集中治療室において、集中治療専門の医師等が集約的に患者をモニタリングし、遠隔地から現場の若手医師等に対し適切な助言を行うシステムの体制整備を促進することにより、医療の生産性の向上の観点を踏まえた勤務環境の改善を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

遠隔ICUの運営に必要な職員基本給、通信運搬費、委託費に対する補助、及び遠隔ICU体制の整備に必要なデータセンター、データシステム構築費用及び付属機器等の購入費用に対する補助であるため、指標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	遠隔ICU体制の運営及び整備のために必要な事業である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	複数のICUが連携することで、遠隔地から現場の若手医師等に対し適切な助言を行うシステムが確立され、医療の生産性の向上につながっている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	事業量規模の把握のため、県内医療機関へニーズ調査を行うことで効率化を図っている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 医療の生産性の向上の観点を踏まえた勤務環境の改善のために、遠隔ICUの運営及び体制整備が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き運営費に対する補助を行い、医療の生産性の向上の観点を踏まえた勤務環境の改善のための遠隔ICUの体制を維持する。 また、遠隔ICUの体制整備を図る医療機関の要望に合わせ、設備整備に対する補助を行い、遠隔ICUの体制を整備する</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】